出向く営農レポート

長久手地域　サク太郎編

まるで新食感!

長久手地域担当
異相 幸信

タケノコのような形をしたキャベツ「サク太郎」を知っていますか？やわらかくサクサクとした食感が特徴ですが、収穫適期が短いためグリーンセンターにもあまり出荷されていない珍しい品種です。

長久手地域担当の異相がサク太郎の栽培を提案したのは長久手市の農家　加藤孝雄さん。加藤さんは多くの手間と時間を掛けて土づくりを行い、野菜栽培に取り組んでいます。

（松永種苗カタログより）

加藤さんの土づくり

①自家製の堆肥は1年間発酵させて石灰窒素を混ぜ、さらに発酵させながら窒素を補うことでようやく完成!10アールの土に400kgの堆肥を混ぜ込みます。

②元肥の中にはもみがらを混ぜ込みます。すぐに混ぜ込むのではなく3年間発酵させ、堆肥と同じように石灰窒素を混ぜ、再び発酵させ使用します。

畑は風通りが良いため、防風対策としてネット掛けをしっかりと行います。

マルチの上からジグザグ状にビニールひもで固定しており、10月上旬の台風を凌ぐことができました。

加藤さんが栽培するサク太郎は11月から長久手グリーンセンターで販売予定です。また11月11日（日）に長久手支店で開催する農業まつりの農産物共進会にも出品予定です。ぜひお越しください。